

2007 年度 4 年生から受験生へのメッセージ

<駒澤大学地理学科に進学してよかったこと>

- ・地理といっても様々な分野の地理があり、それを学べたことがよかった。(環境：細川弘一郎)
- ・地理学は幅広い学問で、様々な視点から物事を見ることができた。(環境：本田昌幸)
- ・地理は、自然・都市・交通・文化など、様々なことを学べる。知識をいろいろな方向に広げることができた。(環境：上野啓佑)
- ・地域を対象にしているが、地域だけではなく、様々な物事への多角的なとらえ方、調べ方が身についたと思う。(地文：下藤香織)
- ・視野が広がり、勉強したければ好きなだけできること。分野にとられない幅広い学問だったから、いろいろできた。(環境：M. J.)
- ・特に地文に言えることだが、学ぶ内容がかなり自由であること。「地図にできれば地理学の内容」なので、国文学科や歴史学科の領域に足を踏み入れた勉強も「望めば」できる。(地文：紫の兎)
- ・高校地理とはまったく違う「地理」の深さ・幅広さが分かった。(地文：ぶみ)
- ・高校で習う「地理」とは一味違って、歴史・環境・文化など様々な角度から勉強することができるのでおもしろい。(地文：高田佳代子)
- ・地理学科は第二志望だったが、進学してみると、地域の特色など、日本人でありながら、日本についてほとんど知らなかったことが多く、よい刺激を受けた。(地文：匿名希望)
- ・地図会社等に就職しないかぎり、将来のことに直結して役に立つ学科ではないが、豆知識が増えるし、他の学科より、より広い知識が得られると思う。(地文：匿名希望)
- ・地理学は現代社会のすべてのことに通ずる学問なので、自分を成長させるうえでは、最適の学科ではないかと思います(社会問題、環境問題等)。(環境：平山浩太)
- ・自分の足で調査する授業が多いので楽しい。(地文：匿名希望)
- ・ゼミ活動で、実際に調査地へ足を運び、現地調査を行ったことが、地理学科ならではの活動で、とてもいい経験になったと思います。(地文：ともこ)
- ・フィールドワークや実習が多いので、自分で物事を考え、進める力がつく。(地文：匿名希望)
- ・いろいろなところに行けてよかった。フィールドワークが一番勉強になります。(環境：ドラえもん)
- ・何よりフィールドワークが、やっぱり楽しい。(地文：匿名希望)
- ・本や先生から学ぶのではなく、自分で実際にいろいろな地域を考えながら歩くことが一番の勉強であり、私にはこれがおもしろかった点であり、地理学科に進学してよかったと思う点です。(地文：匿名希望)
- ・日本のいろいろな土地に行ってみるのが好きになった。ただ景色を見るだけでなく、土地利用や観光産業・景観として知りたいと思うようにもなり、その土地一つ一つに深い興味を持てるようになった。(地文：佐々木瑠郁)

- ・地図を通して、地理のおもしろさが分かった。地図の書き方や地図への着色がうまくなった。(環境：蛭沢政人)
 - ・物事を地図を通して空間的に見られるようになった。(地文：匿名希望)
-
- ・地図やデータを扱うことが多いこと。文字だけでは退屈という人には合っていると思います。(環境：匿名希望)
 - ・課題などでパソコンを多く使うため、パソコンに強くなること。(地文：デーヒー)
 - ・いくつかの機会ですべてパソコンを使用するため、使い方を強制的に覚えることができます。(地文：坂下史朗)
-
- ・地理学科がある大学が少ないので、よい先生がたくさん集まっていること。(地文：D. M)
 - ・専門知識を持った先生が多く、興味がある講義が充実している。(地文：匿名希望)
 - ・地理学にも多くの専門の先生がいるので、授業がバラエティーに富んでいる。(地文：匿名希望)
 - ・バラエティーに富んだ内容(地理に関して)の授業があること。(地文：匿名希望)
 - ・駒澤大学の地理学科は、精鋭がそろっている。本格的に学べる。(地文：無敗の帝王)
 - ・先生方にとっても親切に教えていただけなのがよかった。(環境：笹田英昭)
 - ・熱心な先生が多い。(匿名希望)
 - ・駒澤大学地理学科は、地理学の先生も多く、設備も充実していてよかった。いろいろなことを学べました。(地文：工藤美乃莉)
 - ・図書館に地理学の専門書が多いし、地理学科専用のパソコン室がある。(匿名希望)
 - ・4年間、校舎が同じだったこと。(匿名希望) 校舎が4年間同じ。(環境：匿名希望)
-
- ・地理に興味がある友人が高校時代にいなかった。同じ分野に関心のある日本中の友人と知り合えたのがうれしい。(地文：とよさん)
 - ・分割クラスでの必修授業があり、クラスがない大学で、少人数制で学べたことはよかった。(地文：D. M)